## 校歌

校歌は、1953年(昭和28年)11月1日に挙行された創立45周年記念式典で制定された。 作詞 駒形 雄氏、作曲 伊藤 稔氏、補訂及び伴奏部作曲 鍋谷 毅氏によるものである。

校歌は、素晴らしい地域に生まれ育ったことに誇りをもち、父母に感謝し、気高い誇りと理想をもって生きていく大切さを伝えている。歌詞には、「自然をあがめ、自然と触れ合い、生きる力に感謝すること」「豊かな理想をもって、桃や梨のようにすくすくと成長していくこと」「地域に誇りをもち、常に学び成長して、信濃大川に文化の錦を飾ること」などの願いが込められている。

体育館に掲げられている校歌の額装の文字は、卒業生(大正13年3月卒)の小林 正直氏が、1965年(昭和40年)3月21日に揮毫したものである。



